

1人1台時代の

ICT活用

第11回

「1人1台」普及の後に
必要なことは？

久保田 航 (株) すららネットマーケティング
グループ学校チームサブマネージャー)

GIGAスクール構想の進展

「GIGAスクール構想」で進んだ小中学校における1人1台環境のパソコンの普及率は、文部科学省の調査によると、2021年7月時点で96・1%の整備率となっており、高校での整備率は、2021年11月時点で47%ですが着実に進んでいます。

GIGAスクール構想の目的は、「多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境」を実現することで、その

先にある目的はもちろん、前記の「教育の実現」です。

環境整備が進んだ後、それらがツールとして有効利用されることこそ大切であると、これを読まれている多くの読者も思うところと思います。一方で、ソフト・ハード両面で幾重にもハードルがあり、思うように進んでいないという学校の話も耳にします。

そこで今回は、21年10月にデジタル庁の「デジタル社会推進賞」で最優秀賞に当たる「プラチナ賞」を受賞した長野県坂城高等学校での実践を紹介したいと思います。この間、同校へは、私たちが支援をさせていただきました。その活動を通して学校変化の鍵となったと感じたことがあります。それらを紹介することで、皆さまの学校における教育アップデートの一助になればと思います。

先駆者もたどった同じ道

同校は、2019年に経済産業省の「未来の教室」実証事業(以下、実証事業)で、1人1台のパソコンとAI教材「すらら」を導入しました。

学校にうかがうと、通常教室の生徒の狭い机の上には、パソコンがさも当然という顔で場所を取り、授業の中でひんぱんに使われる、そのような授業風景がそこで見られます。

うらやましい風景ですが、同校はこうした取組に特別なアドバンテージがあったわけではありません。近隣はもちろん

全国にも、公立のスタンダードな高校における活用・導入例はほぼなく、情報もない、それがスタート地点でした。しかも当時はコロナ禍前で、ICTによる学びはまだ市民権を得たとは言えない状態でした（実証事業は2019年9月スタート）。

「なぜ入れるのか?」「生徒は使えるのか?」「質問にどう答えたらいいのか?」「不慮の事態が起きたらどうしたらよいのか?」「使うための準備が全然できていないじゃないか」——多くの不安、あるいは反対に近い声が山ほど飛び出しました。

これは、今、全国の学校で起きていることと根っこは同じではないでしょうか?

こうした問題に対して、同校とパートナーシップを結んだ私たちが行った中で最も大切だったことは「対話」することでした。

「子どもたちが使うことができるのか?」——「できます」

「イメージがわからない」——「中学校なら例がある。見にくい」「この方法だったら一人ひとりの学力に寄り添うことができるのでは?」

こうした議論を繰り返し、仮に決めた「行動」に対して、挑戦し、また話し合う。そうした繰り返しによって積み重なった小さな変化の延長線上にあるのが、今の坂城高校です。

「納得」して進めるために

ICT導入について、手を尽くしても完璧は難しいと思います。準備しても、大なり小なりの課題は出てきます。

一方で、実際に学びを展開する先生方の多くは、「ICT導入」というカードが配られた理由や背景について、情報が不足し、使い始めるための心理的な準備さえできていないことが少なくないように思います。

腑に落ちないことに対しては、やはり行動が重くなります。「納得」するために必要なことは、一過性の説明ではなく、学校の課題を明確にするための対話と、そのためにこの「ツール」がどう使えるのか等、課題を言語化し、解決策をすり合わせ、行動し、再び話し合う。こうした場を繰り返し設定し続けることこそが、成功への近道ではないかと感じています。こうしたことができていないことが、「研修」の影に隠れてしまい、学校現場で意外と実現できていない理由なのだと思います。

(株)すららネットは設立以来、AI教材「すらら」を提供するとともに、学校の抱える課題について話し合い、学校の外部パートナーとしてサポートしております。

ツール提供者の多くは、他校での事例や課題も知っており、その解決のために日々学んでいますから、知見を持っていたりするはずですが。校内だけでは、どうにもうまく進められない。そんな時は「対話」のパートナーとして、頼ってもらえたらと思います。きつと大きな助けになってくれるはずです。



(一社) ICT CONNECT 21 —— 「教育の情報化」に関係する皆さまにオープンな場を提供し、コネクトすることで教育を良くしていく団体。教育とICTについての情報を毎週メルマガで配信中!